

事業名 区立中学校における防災ジュニアリーダーの育成<新規>

予算額

488万円

【PRポイント】

- 荒川区の未来社会を担う生徒に、「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識、他者への思いやりの気持ちを醸成します。
- 発災時に防災・減災活動に貢献できる、防災ジュニアリーダーを育成します。

【目的・内容】

区立全中学校に、(仮称)防災部を設置し、日頃から防災意識を持って生活できるように「ジュニア防災検定」の受検をすすめるなど、防災に対する判断力や行動力を養い、防災ジュニアリーダーを育成します。

部員は、災害時に後方支援ができるよう、D級ポンプの操作訓練や救命訓練等を行うとともに、地域の防災訓練に参加し、町会や消防団との連携を深めます。

また、被災地であり、交流都市である釜石市の中学校等を訪問し、被災体験や復興状況を生で見聞することにより、防災に対する意識を高めます。

さらに、訪問後、各中学校において、報告会を開催し、防災教育の充実を図ります。

【効果】

- 災害時にD級ポンプの操作や高齢者の避難誘導等の後方支援ができるようになります。
- 防災活動のみならず将来、地域活動の中核となる人材の育成につながります。
- 防災訓練、被災地訪問報告会やジュニア防災検定受検等を通じ、防災教育の充実を図ることができます。

【問合せ先】

教育委員会事務局